

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構



No.44 2014年 5月

医薬品処方オーダー時の選択間違い

POINT

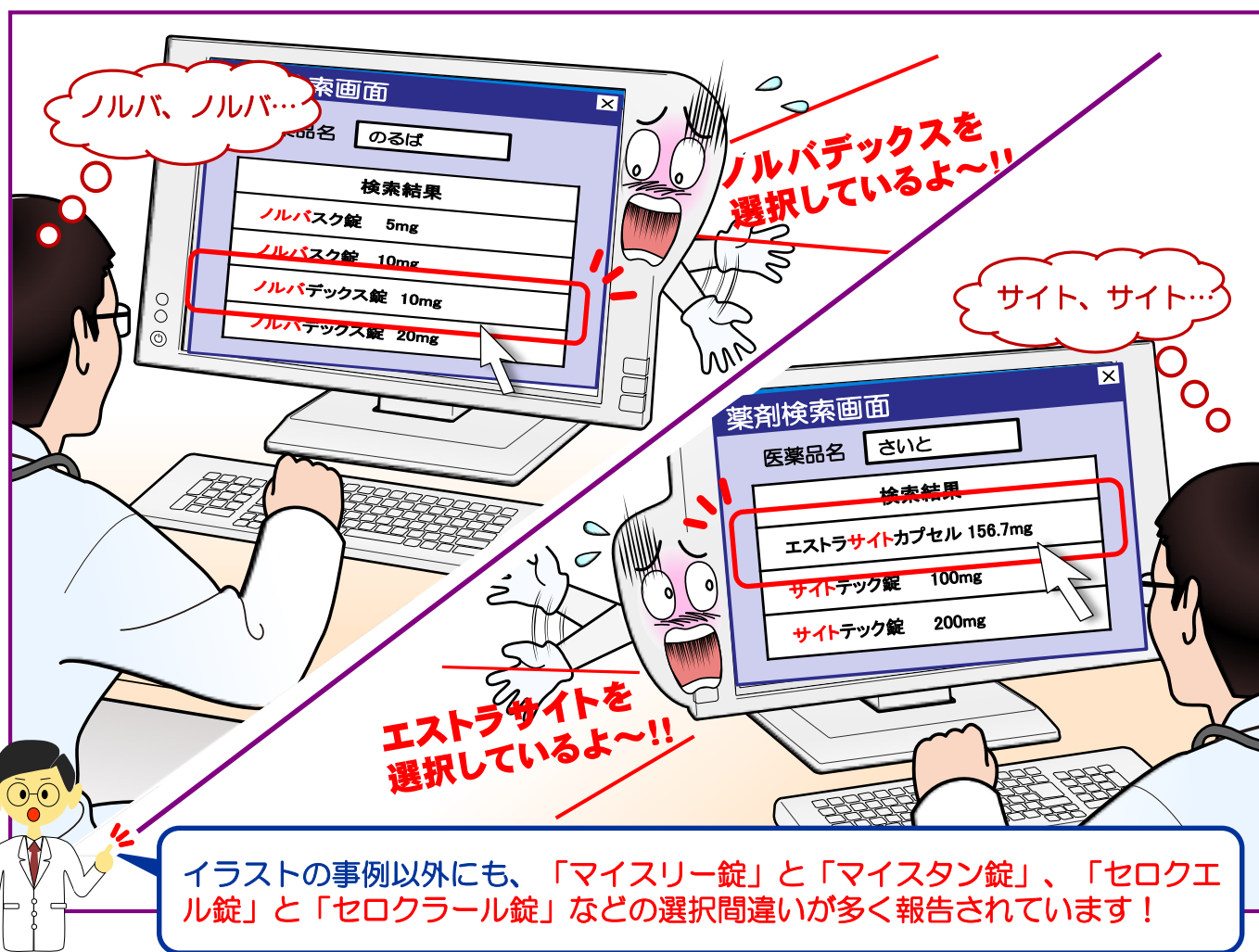
安全使用のために注意するポイント

(事例1) 「ノルバスク錠」を処方する際、誤って「ノルバデックス錠」を処方してしまった。

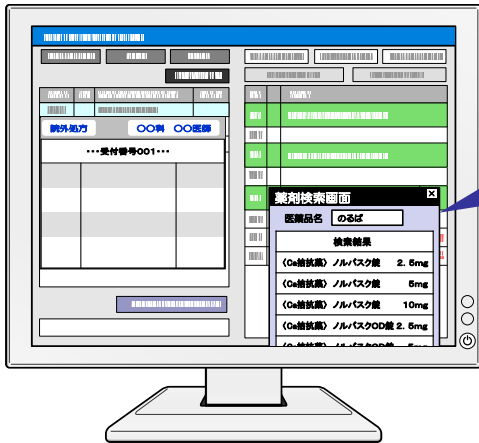
(事例2) 「サイトテック錠」を処方する際、誤って「エストラサイトカプセル」を処方してしまった。

1 処方オーダー時の選択間違い (その1)

- 名称類似による選択間違いのリスクを減らすような処方オーダーシステム上の工夫が望まれる。



処方オーダー画面の工夫例 (1)



薬効表示

薬剤検索画面

医薬品名

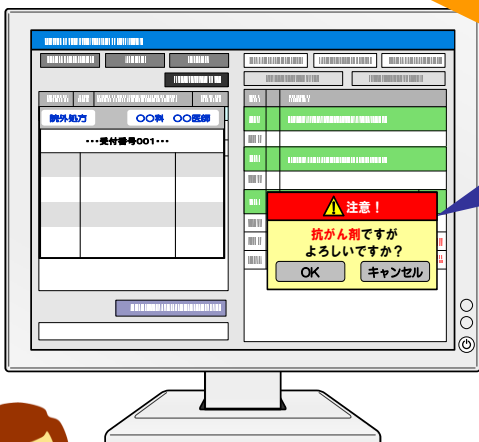
のるば

検索結果

〈Ca拮抗薬〉	ノルバスク錠	2.5mg
〈Ca拮抗薬〉	ノルバスク錠	5mg
〈Ca拮抗薬〉	ノルバスク錠	10mg
〈Ca拮抗薬〉	ノルバスクOD錠	2.5mg
〈Ca拮抗薬〉	ノルバスクOD錠	5mg
〈Ca拮抗薬〉	ノルバスクOD錠	10mg
〈抗がん剤〉	ノルバデックス錠	10mg
〈抗がん剤〉	ノルバデックス錠	20mg

販売名の前に薬効を表示

抗がん剤などの
ハイリスク薬は、注意を表示



注意表示



注意！

**抗がん剤ですが
よろしいですか？**

OK

キャンセル

処方オーダー時に薬剤の選択間違いに気付くよう、システム上の画面に「薬効」や「注意」を表示させる方法などがあります。

処方オーダー画面の工夫例 (2)



検索事例 ①

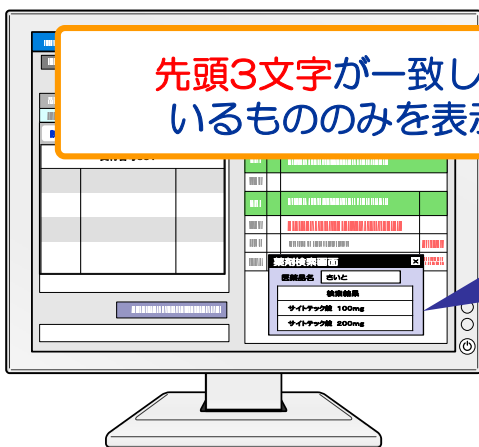
薬剤検索画面

医薬品名 んのるば

検索結果

ノルバデックス錠 10mg

ノルバデックス錠 20mg



検索事例 ②

薬剤検索画面

医薬品名 さいと

検索結果

サイトテック錠 100mg

サイトテック錠 200mg

(事例 3) 「ワーファリン錠 0.5mg」を処方する際、誤って「ワーファリン錠 5mg」を処方してしまった。

2 処方オーダー時の選択間違い (その2)

- 複数規格による選択間違いのリスクを減らすような処方オーダーシステム上の工夫が望まれる。



処方オーダー画面の工夫例 (3)

規格の選択間違いにより重篤な健康被害が生じる可能性のある薬剤には、**注意を表示**



注意表示

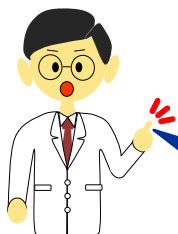


注意！

**選択された薬剤は
複数規格あります。**

OK

キャンセル



薬剤の選択間違いを防ぐために、院内の処方オーダーシステムをチェックし、必要に応じて、オーダー画面の表示や検索方法の工夫を検討してください。また、これからシステムを導入する施設は、このような工夫を検討してください。

※本医療安全情報に関連した内容が、以下のマニュアルにも記載されております。
公益社団法人 日本医師会「医療従事者のための医療安全対策マニュアル」p141 表73参照
<http://www.med.or.jp/anzen/manual/menu.html>

本情報の留意点

- * このPMDA医療安全情報は、財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業報告書及び薬事法に基づく副作用・不具合報告において収集された事例の中などから、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家の意見を参考に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。
- * この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
- * この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。